



コンサルティング機能の強化

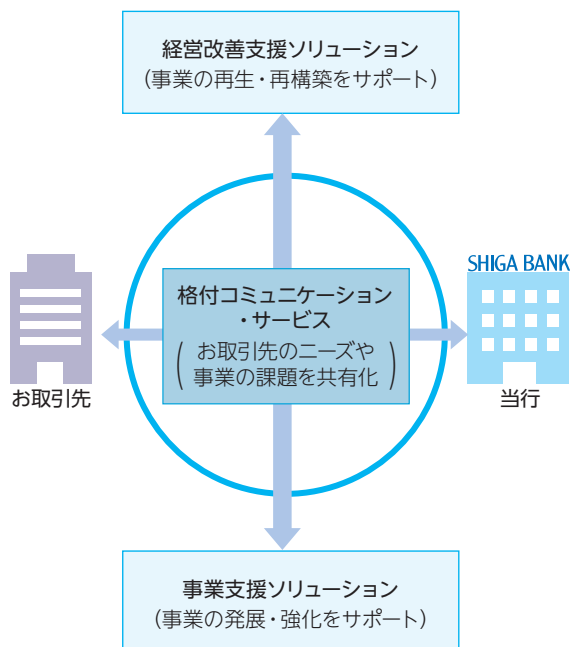
コンサルティング機能の発揮は金融機関にとっての最優先課題であり、当行はこれを「知恵と親切の提供」として取り組み、「地域社会との共存共栄」の実現に努めています。

格付コミュニケーション・サービス

当行では「企業格付」を、お取引先と当行をつなぐ合理的なコミュニケーション・ツールとして位置づけ、決算書に基づいた定量的な財務分析と、当行独自の審査ノウハウによる定性評価に加え、多くの情報を総合的に分析して合理的に格付を決定します。

「格付コミュニケーション・サービス」は、格付プロセスを通じて把握したお取引先の「強み」、「弱み」を共有し、問題解決や財務改善を図ることで、お取引先の永続的な経営基盤の構築や企業価値向上を目指すものです。

格付コミュニケーション・サービスの位置づけ



具体的には、お取引先の経営ビジョンをお伺いしたうえで、当行が認識した課題や問題点を解決するための改善策などを提案、サポートしています。

同サービスを平成19年8月の開始から平成23年3月までの間に、お取引先2,283社に対して、のべ4,721回実施しました。今後も、同サービスを中心にお取引先の経営基盤強化を目指してまいります。

経営改善計画の策定を支援

「格付コミュニケーション・サービス」で認識したお取引先の課題や問題点を解決するための改善策の一つとして、「経営改善計画」の策定をサポートしています。また、策定した経営改善計画の進捗状況は適宜モニタリングし、お取引先の経営改善に向けた取り組みをサポートしています。

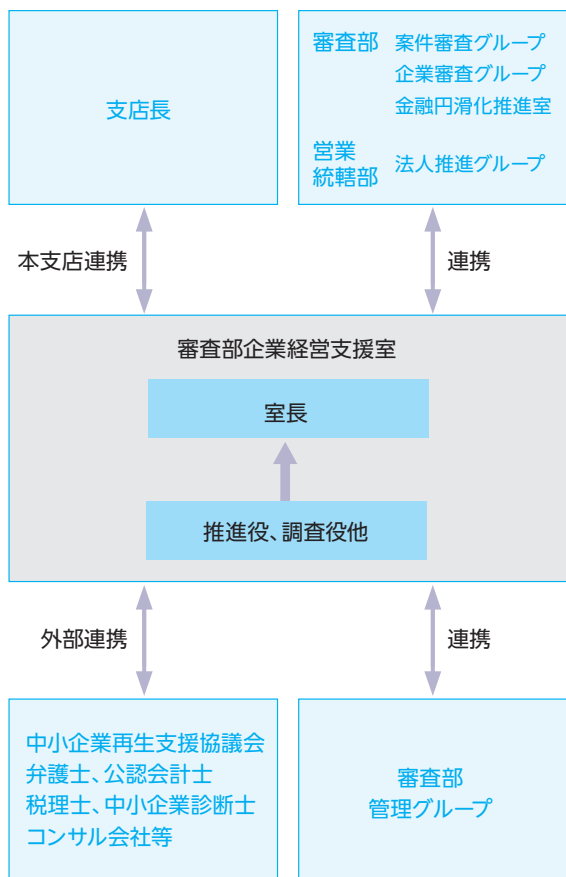


お取引先の状況について専門スタッフが話し合う

企業経営を支援

業績改善に取り組まれているお取引先には、審査部内の「企業経営支援室」を中心に一歩踏み込んだ活動を展開しています。同室は中小企業診断士資格などを持つ行員で編成し、経営支援ノウハウを積極的に活用するとともに、外部専門家とも連携を強化してお取引先の経営支援を行っています。

経営支援の体制



滋賀県中小企業再生支援協議会と連携

滋賀県中小企業再生支援協議会は、滋賀県内の中小企業を対象に再生の支援を行う機関として、大津商工会議所が近畿経済産業局の委託を受けて設置しました。当行では、同協議会と連携を強化、中小企業の再生に全力をあげています。

債務者区分が改善(ランクアップ)

これらの取り組みの結果、平成23年3月までにお取引先155先の債務者区分が改善(ランクアップ)しました。

事業再生は、息の長い取り組みであり、成果がすぐに現れる性質のものではありませんが、今後とも「知恵と親切を提供するビジネス」に注力します。

経営支援の体制強化

当行では、営業店と審査部、営業統轄部の専門スタッフが、お取引先のご要望やライフサイクルに応じた「事業支援」や「経営改善支援」に積極的に取り組んでいます。

具体的には、売上向上策や経費削減策、財務内容改善策などの助言や、組織再編、事業譲渡、M&Aなど多面的な再生スキームの構築などを行っております。

平成22年10月には、審査部内の「企業経営支援室」を増員して、経営支援の体制を一層強化しています。

震災影響のあるお取引先を迅速にサポート ～「東日本大震災に係る特別相談窓口」を設置～

東日本大震災の影響を受けられたお取引先のご相談に適切かつ積極的に対応するため、平成23年4月、「東日本大震災に係る特別相談窓口」を国内全本支店(出張所、代理店除く)に設置しました。

「特別相談窓口」では、被災による直接的な影響だけでなく、「仕入先の被災による減産で仕入れが困難に」「物流網の寸断で売り上げが落ちた」といった間接的な影響を受けたお取引先の課題を把握し、ビジネスマッチング

による販路拡大や技術開発の支援などを行います。そのほか、新たな設備投資のための資金ニーズや返済プランの見直しといった資金繰りニーズなど、状況に応じてきめ細かにサポートします。



国内本支店窓口でご相談を承ります